

6月定例月議会における議案に対する意見募集

No.1 ふるさと応援寄附金事業について

今回の予算は、ふるさと応援寄附金の寄附受け入れ窓口となるポータルサイトを増設することにより、ふるさと納税制度を通じて、本市の魅力ある地場産品、本市ならではの魅力を従来よりも広く周知するとともに、寄附の受け入れ拡大を図るためのものです。
今回の事業に対するご意見を募集します。

1. 背景

本市では、四日市市ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の受入額に対して、市民が他の自治体へふるさと納税を行うことに伴う個人市民税の税額控除額が大幅に上回っており、貴重な財源が市外へ流出している状況にある。

四日市市ふるさと応援寄附金の状況

①寄附受け入れ		②個人市民税 税額控除		収支差 (①-②) [千円]
年 度	額 [千円] (件数)	年 度	額 [千円] (件数)	
平成30年度	25,720 (1,242)	令和元年度	477,944 (10,456)	▲452,224
令和元年度	55,899 (2,014)	令和2年度	519,632 (11,383)	▲463,733
令和2年度	49,298 (2,284)	令和3年度	649,529 (14,961)	▲600,231
令和3年度 (見込み)	50,329 (2,456)	令和4年度	—	—

2. 内容

ふるさと応援寄附金の寄附受け入れ拡大を図るため、従来利用していたポータルサイトの「ふるさとチョイス」に加えて、新たに「楽天ふるさと納税」を追加し、運用にかかる経費とこれに伴う返礼品代を増額補正する。

(1) 感謝の気持ち（返礼品）の調達経費 10,500千円

ふるさと応援寄附金の寄附者への感謝の気持ちとして用意する本市の魅力ある地場産品やサービスなどの調達経費
※地方税法上、返礼割合は寄附額の3割が上限

(寄附見込み額) 35,000千円 × (返礼割合の上限) 30% = 10,500千円

(2) ポータルサイト運用経費等 4,565千円

ポータルサイトを通じて寄附を受け入れた際の手数料や広告掲載経費

[(寄附見込み額) 35,000千円 × (システム利用料) 9%
+ (広告料) 1,000千円] × (消費税) 10% = 4,565千円

「楽天ふるさと納税」の選択理由

- ① 1,000自治体を超える登録がある大手ポータルサイトの一つである
- ② 大手ポータルサイトの中でも、高い認知度があり、「楽天市場」などを利用する、いわゆる楽天経済圏ユーザーの取り込みが期待できる
- ③ 既存の歳入管理システムとの連携が容易で、ポータルサイト増設にかかる事務負担が少ない

「楽天ふるさと納税」ポータルサイトのイメージ



広告料を活用した
返礼品の紹介イメージ

3. 効果

ポータルサイト「楽天ふるさと納税」の追加により、令和4年度の当初寄附受け入れ見込み額（67,000千円）の約1.5倍程度の歳入額を見込む

4. 補正予算額

15,065千円 (財源内訳) 一般財源 15,065千円